

## 鹿児島城下のはずれ下荒田に生まれ、 郷土から総理大臣になった男。

慶応4(明治元(1868))年、260年余り続いた江戸幕府が倒れ、新しい政府が産声を上げました。しかし、欧米列強が虎視眈々と狙うなか、ヨチヨチしている時間はありません。日本は、「殖産興業」・「富国強兵」を掲げ、強力な国づくりを急ぎました。  
松方正義(1835-1924)は、その頃長く大蔵卿・大蔵大臣として国家の屋台骨を支えた人物で、総理大臣も2度務めました。鹿児島城下のはずれ下荒田に生まれ、出自による偏見や親戚の負債による貧困などを乗り越えて、総理大臣まで昇りつめた松方の生涯に迫ります。



松方助左衛門書状 桂右衛門宛(個人蔵・黎明館保管)  
慶応4年2月21日、長崎より



(竹内栖鳳筆 樹猿猿図) (呉慶坻筆 祝詩)  
松鶴題贈集(個人蔵・黎明館保管)



内大臣大礼服一式(個人蔵・黎明館保管)

### 開館時間

9:00 ~ 18:00(入館は17:30まで)

### 休館日

月曜日(祝日の場合は翌平日)  
毎月25日(土・日・祝日の場合は開館)  
12月31日 ~ 1月2日  
そのほか、館が定める日

### アクセス

- 鹿児島空港 から  
鹿児島市内行きバス「市役所前」下車、徒歩7分
- JR鹿児島駅 から  
徒歩15分
- JR鹿児島中央駅 から  
市電・バス「市役所前」または「水族館口」下車、徒歩7分  
鹿児島市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ

無料駐車場あり(普通車125台 バス20台)



自動車・バイク・自転車でお越しの方は、②西門をご利用ください。  
①御楼門および③北門は、歩行者のみ通行可能です。(車椅子での通行は危険です)  
車椅子で来場される方には、駐車場まで車でお越しいただくことをお勧めしております。

御楼門開門時間 黎明館開館日の7:00 ~ 18:30(休館日は通り抜けできません)

鹿児島県歴史・美術センター黎明館  
〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号  
☎099-222-5100 FAX 099-222-5143

### 観覧料

	普通料金	団体料金 (20名以上)	年間 パスポート
一般	420円	310円	840円
高校生・大学生	260円	160円	520円
小学生・中学生	160円	80円	320円
小学生未満	無料		

- ※ 障害者手帳をお持ちの方は手帳の提示で無料(介護者1名まで無料)
- ※ 鹿児島県内居住の70歳以上は無料(令和6年度まで、要身分証)
- ※ 鹿児島県内居住の18歳以下は土・日・祝日は無料(令和6年度まで、要身分証)
- ※ 年間パスポートは、1年間の有効期間中常設展示を何度でも観覧可能(企画展含む)

### Follow us

最新情報をはじめ  
展示会のみどころなども  
発信しています



黎明館 HP

Kagoshima Prefectural Museum of Culture

# REIMEIKAN

MUSEUM CALENDAR

ミュージアムカレンダー 2024.05 ▶ 2025.03



鹿児島県歴史・美術センター黎明館



松方正義写真(個人蔵・黎明館保管)

企画特別展

没後100年

松方正義 — 郷土から総理大臣へ —  
*Matsukata Masayoshi*

令和6年

9/26<sup>㊦</sup> - 11/4<sup>㊦</sup> 黎明館2階 第2特別展示室

# 近世薩摩藩の財政と商人



調所広郷肖像「続常不止集巻十四」より(個人蔵・黎明館保管)

薩摩藩は江戸時代後期までに多額の負債を抱えました。その背景には、参勤交代や軍役、宝暦治水(1753~55年)などの御手伝普請(幕府から命じられた工事)の負担もありました。この財政危機を救ったのが、調所広郷でした。調所は藩の近代化を進めるとともに、経済に大きく関わる商人も積極的に登用しました。本展覧会では、藩の財源などとともに、商人の活動についても紹介します。

# 南九州の山と生きる人々



木挽夫の写真(個人蔵・黎明館保管)



ワキノコ

背丈ほどの大きな鋸を持って、山に向かう木挽夫たち。身を潜めて、獲物が来るのをじっと待つ狩猟者たち。南九州の人々は、山の豊かな恵みを求め、知恵や工夫を凝らしながら自然と付き合ってきました。山での生業に使われた民具、山の神への畏敬と感謝を表す行事や信仰など、山と人々が育んできたつながりを紹介します。

特別展示 [考古]

【県指定文化財】吹上町田尻の金銅菩薩立像 8月3日(土)-8月18日(日)



特集展示 [美術・工芸] 黒田清輝 7月23日(火)-9月1日(日)

# 風景へのまなざし

## 発見された鹿児島県の名勝



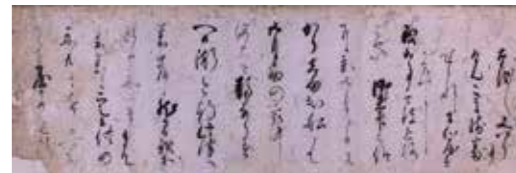
「大隅さくらじま」安藤広重『六十余州名所図会』(複製版)より



錦手鹿児島八景図大皿

鹿児島の風景はどのように描かれてきたのかをテーマに、風景に向けられたまなざしと表現の移り変わり、その中で発見された鹿児島県の名勝を、絵画や工芸品、鹿児島ゆかりの名所絵や図会、近代以降に描かれた風景画などを通して紹介します。

# 新収蔵品展



島津義弘書状 文禄4年(1595)6月5日付 幸相宛(個人蔵・黎明館保管)



新納忠之介作 木造観世音菩薩立像

黎明館は、鹿児島県の歴史・文化に関わる資料を寄贈・寄託や購入によって収集・収蔵し、現在、その数は約18万点にも及びます。しかし、なかには展示の機会に恵まれず、収蔵庫で眠り続けている資料も少なくありません。そこで本展覧会では、近年収蔵した資料のなかから未展示のものに光を当て、関連資料も交えて紹介します。

特別展示 [考古]

【県指定文化財】吹上町田尻の金銅菩薩立像 1月7日(火)-1月19日(日)

2024 ▶ 2025

は休館日

月曜日(祝日の場合は翌平日)

毎月25日(土・日・祝日の場合は開館)

12月31日~1月2日

そのほか、館が定める日

※ 最新の情報は、ホームページまたはSNSにてご確認ください。

5 May

6 June

7 July

8 August

9 September

10 October

11 November

12 December

1 January

2 February

3 March

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
						1
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

S	M	T	W	T	F	S
						1
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

S	M	T	W	T	F	S
						1
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					